

匠 瑛

106

探訪

三峯講社

西小笹を歩く

戦後の1946(昭和21)年に神社の国家管理が廃止されるまでは、各村の神社には村社とよばれる社格がありました。

現在、市内で66社が宗教学人登録されていますが、その多くが旧村社で、かつての村(現在の大字)に1社、まれには2つの神社がまつられるところもあります。

西小笹区(共興地区)には、区を中心に旧村社の八幡神社と集落の西の端に稲生いなお神社があり、ともに1879(明治12)年作成の「千葉県神社明

細帳」に記載されています。この文書には神社の祭神、由緒、社殿、境内、氏子などが書かれ、移り変わりも知ることができます。

1396年にまつられたとされる八幡神社境内には、境内社の三体子安神社と三峯神社もあります。

三峯神社の本社は埼玉県秩父市三峰にあり、火難よけ、盗難よけをはじめさまざまな災いを防ぎ、良縁を結び願い事かなえる神様として信仰されています。関東甲信越地方で江戸時代以降信仰を集めた背景に山伏やまぶしの布

た背景があったとされています。

旧八日市場市域での三峯信仰について見ると、明治の「千葉県神社明細帳」には、富谷・愛宕神社境内を含め3社の境内にまつられ、古いものでは長谷新田

(共興地区)の三峯社に1815年の石宮があります。

西小笹村は支配の関係で、1600年代に小笹村が東西に分割され成立したのでしょう。その後1700年代にかけて村の支配者は5人となりました。それぞれに集落が形成されたようで、1845年ごろの村の家数は104軒と記録されています。

地域で神社などを信仰する団体を講社といい、西小笹区には「三峯講社」があり、希望者を募り毎年本社の参詣を続けているとのこと。この三峯登拝は1905(明治38)年から始められたと伝わり、110年目にあたる今年は、秋に1泊2日の参詣が計画されているそうです。

平成5年の三峯神社の社報には、前年の主な登拝講社として「八日市場市・西小笹三峯講社」と「八日市場平和講社」が掲載されています。市内にはこのほか現在でも登拝している「三峯講社」があるかも知れません。今回は資料提供のあった「西小笹三峯講社」を紹介しました。

(元 市職員・依知川雅一)

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080



西小笹の八幡神社境内にある三峯神社